

京都府 セーフコミュニティ ニュース

～地域力による安心・安全なまちづくりを目指して～
創刊号(平成21年2月10日発行)

京都府府民生活部
安心・安全まちづくり推進課
TEL075-414-5079 FAX075-414-4255
E-mail:anshinmachi@pref.kyoto.lg.jp

府内行政職員を対象に「セーフコミュニティ普及説明会」を開催

平成20年3月、京都府亀岡市が日本初のWHO（世界保健機関）によるセーフコミュニティ認証を取得しましたが、府内におけるセーフコミュニティの認知度はまだまだと言えます。

そこで、まずはセーフコミュニティがどういうものか、どんなにいいものかを知っていただくため、亀岡市との共催により、府内の行政機関を対象に、「セーフコミュニティ普及説明会～地域力による安心・安全なまちづくりを目指して～」と題し、府内北・中・南部の3会場で普及に向けた説明会を開催したところ、市町村、警察署、保健所等から計94名の参加がありました。

【日時・会場】

- ①中部会場：1月28日（水） 京都府南丹保健所（南丹市）
 - ②南部会場：2月 2日（月） 京都テルサ（京都市南区）
 - ③北部会場：2月 4日（水） 府立舞鶴勤労者福祉会館（舞鶴市）
- いずれも午後2時から4時30分まで

【主な内容】

今回は、2名の専門家からセーフコミュニティの概念や認証基準等についての説明のあと、続いて、実際に認証に向けて取組をされてきた亀岡市及びそのモデル地区で中心的役割を果たしている自治会長から具体的な取組について説明いただきました。

講演

- ①「セーフコミュニティと地域保健」
渡辺 能行氏（京都府立医科大学大学院医学研究科教授、府セーフコミュニティプラン検討委員会座長）
- ②「セーフコミュニティを活用した協働によるまちづくり」
白石 陽子氏（セーフコミュニティ認証センターコーディネータ、同検討委員会オブザーバー）
- ③「日本初のセーフコミュニティの取組について」
田中 秀門氏（亀岡市企画管理部企画課企画担当係長）
- ④「地域が創るセーフコミュニティ 篠町の活動－亀岡市」
井内 邦典氏（亀岡市篠町自治会会長）

講師の方からは、次のような説明がありました。

- セーフティプロモーションは、事故や傷害をターゲットとした取組のプロセスである。
- セーフコミュニティの取組は地域の再生に役立つものである。
- セーフコミュニティとは、市町村や地域間の垣根を取り払い、安全に関する様々な取組に横串を刺して横断的・総合的に取り組むコミュニティのことである。
- 「安全」は全ての人に関心を寄せる事項であるため、多くの分野の人が交わりやすい。
- WHOの認証のみを目的とするものではないが、認証を目指すことで地域が求める目標値を共有でき、また、そのことにより、安全なまちづくりのツールとして機能していくという効果がある。



渡辺 能行 氏



白石 陽子 氏

○「住民とともによりよい地域をつくる」という点でセーフコミュニティの取組は優れており、ここに、科学的データ分析を入れているのが特徴である。

○セーフコミュニティは、パートナーシップを築くための取組であり、各分野が役割分担をすることが大事である。

○認証を受けたことにより、テレビや新聞等に取り上げられたことによる市のPR効果、視察による宿泊客増加等の経済効果が大きい。



田中 秀門 氏

○セーフコミュニティの取組により事故が減少できること、警察や消防などの科学的データが利用できること、保健所や大学等のサポートが受けられるなどのメリットがあることから、市からのモデル地区の提案を引き受けた。

○セーフコミュニティの認証により、住民の自治会活動に対する関心が高まったと感じている。

○自治会と大学が市役所を介さずに安心・安全に関するプロジェクトを組んで取り組むことができるなど、自治会にとってのメリットは大きい。



井内 邦典 氏

ほとんど全ての自治体が何らかの形で「安心・安全」に取り組んでいることと思います。
今回の説明会に参加いただいた自治体、また、この「京都府セーフコミュニティニュース」を読んでくださった自治体や自治会をはじめ府民の皆さんには、ぜひセーフコミュニティの考え方を取り入れていただけたらと思います。

「京都府版 セーフコミュニティの手引き」を作成



また、この説明会にあわせて（株）マチュールライフ研究所の企画・制作、亀岡市との協働により「京都府版 安心・安全のまちづくり セーフコミュニティの手引き」を作成しました。

これまでもセーフコミュニティを紹介する冊子はありませんでしたが、亀岡市がセーフコミュニティの認証を取得したことを踏まえ、内容を一新して作ったものです。

内容としては、セーフコミュニティの概念や期待される効果、WHOの認証を得るための6つの指標などに加え、亀岡市や篠町自治会の具体的な取組を盛り込み、わかりやすくまとめたものとしています。

「セーフコミュニティの手引き」

【構成】

- 1 安心・安全の現状
不慮の事故・自殺による死亡の割合、安心・安全のための取組など
- 2 セーフコミュニティとは
セーフコミュニティ活動の起こりや概念、考えられる効果など
- 3 セーフコミュニティの特徴
- 4 具体的な取組方法
6つの指標、亀岡市や篠町自治会における取組など
- 5 セーフコミュニティに関する情報
FAQ、セーフコミュニティに関する情報提供先など

今後は、各種説明会や、自治体等からの視察対応時などに活用しながら、セーフコミュニティの普及に努めていくこととしています。

「セーフコミュニティ」という優れた取組を広く知っていただきたいという思いから、この「京都府セーフコミュニティニュース～地域力による安心・安全なまちづくりを目指して～」を発行することとしました。
今後は、セーフコミュニティをはじめ、安心・安全なまちづくりに関する取組を幅広く適宜御紹介していきます。